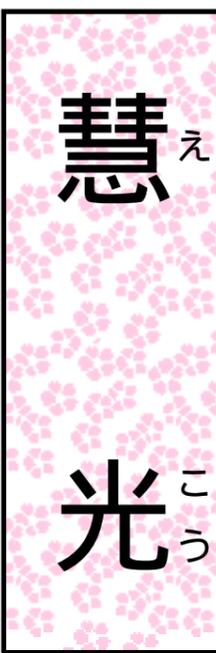


擬宝珠の白花

(7月5日・境内にて)



金光寺寺報
第145号
発行所 金光寺
宮崎県西臼杵郡
五ヶ瀬町大字鞍岡
5927番地
0982
83-2338

今月のことば

「まかせよ まかせよ」如来の声「おまかせします」私の声
(鈴木章子)

鈴木章子さんの『癌告知のあとで』の一部を紹介
します。 (21頁)

鈴木さんは、入院をされて乳ガンとの取り組み
が始まると、限られた人生の前には、世間一般の
価値観が通用しなくなるということに気づかれて、
「お先真っ暗」といった心境になられます。「生
死」の問題と向き合うようになった時、八十歳を
過ぎた実家の父から手紙を受け取ります。「あなた
は、一体何をドタバタしているのか。生死はお
任せ以外にはないのだ。人知の及ばぬことはすべ
てお任せしなさい。そのためにお寺に生まれさせ
てもらって、お寺に嫁いだのではないか。生死は
あなたが考えることではない。自分でどうにもな
らぬことをどうにかしようとするのは、あなたの
傲慢である。ただ事実を大切にひきうけて任せ
なさい」と書いてありました。(『癌告知のあと

で』21頁)
こうして、お父さんの言葉に安心され、誰にも
代わってもらえない人生であることに気づいたと
言われています。

阿弥陀さまの「わが声をたよりに来れば、必ず
救う」という、「まかせよ、まかせよ」の喚び声
に、私は素直に「はい、おまかせします」と答え
るだけでいいのです。信心をよるこぶ人は、阿弥陀
さまの「われにまかせよ」という喚び声を聞いて、
すべてを阿弥陀仏におまかせすることで、浄
土往生をなしとげることができるのです。

阿弥陀仏の受け持ちは、凡夫を必ず仏に仕上げ
ていくことですから、凡夫は阿弥陀仏の喚び声に
おまかせして念仏するだけでいいのです。

(本願寺出版社刊「大乘」誌より転載)

金光寺よろずコーナー

7月4日、本年3月27日に亡くなられた
方の百日忌(百か日)のお参りがありま
した。

- 身近な方が亡くなると、
・臨終勤行(枕経の正式名称)
・通夜・葬儀・還骨勤行
・礼参り・初七日逮夜法要
・二・七日忌~六・七日忌
・満中陰法要(四十九日法要)

とご縁をつとめていきますが、満中陰法要
のあとに百日忌があります。鞍岡ではあま
りお参りされる習慣がありませんので、初
めてお知りになる方もあるかと思ひます。

亡き人を縁として仏法聴聞をさせていた
だく大事な仏縁のひとつです。

覚えておいていただき、もし、身近な方
とのお別れがありましたら、お参りしてい
ただければと思うことです。

六月、金光寺ご門徒の次の方がご往生
なさいました。謹んでお悔やみ申し上げ
ます。

2013年 6月8日 寂 満82歳
広瀬 林 吉 孝 様

ホームページ開いています。
URL <http://konkhoji.jp>
7月5日現在 アクセス数 42,352人

今年も残り半分になりました
ね。先日の我が家の会話。「も
うすぐ、恩講・秋参りで忙しく
なるたい」と坊守が言いました。
というのも、今月三日に三回忌
のお参りがあつたのですが、
「六月十四日に法事があつて以
来、十九日ぶりに黒衣を着た
(忙しくないことを伝えたくつ
た)」と私が坊守に話したこと
を受けての弁です。五月、六月
はこのお寺も法事が少ないよ
うですが、当山もその例にもれ
ず、五月、六月は法事が少なく
その現れの会話だったので。
坊守はもうすぐ忙しくなること
を伝えたくつたようですが、私
はあつという間に過ぎていく、
日々の速さの方が気になりまし
た。年齢を重ねるスピード感が
だんだん速くなる、それはとり
もなおさず、加齢による娑婆の
縁尽きる日が近づいていること
の現れでもあります。もちろん、
平均的な寿命が保障された身で
ないことは分かりきっているの
ですが、残り半分となつた二〇
一三年、一日一日を大事に過ご
したいなと思つたことでした。
(住職 松井卓郎)

仏教用語豆辞典

結界

昔、商屋では帳場の囲いとし
て三枚折りの低い格子が立てら
れていました。これを帳場格子
とか結界といひます。
お寺の本堂で、内陣と外陣、
または、外陣の中でも座席を区
別するために設けられていた木

の棚を結界と呼んでいます。
茶席で、客畳が道具畳と接近
している場合、その境界を示す
ために置く置物、この茶道具を
結界といひます。
高野山などの女人結界も有名
です。女性の入山を禁止したも
ので、刈萱道心(かるかやど
しん)と石堂丸(いしどうまる)
の哀話がいひ出されます。
結界とは、仏道修行の必要上、
一定の地域を定め、その境界を
制限することです。受戒や布薩
など、僧たちが一カ所に集まっ
て行事をなすように考えて

設けられた僧界のほか、撰衣
界と撰食界があります。
それがががて、僧団の秩序を
乱し修行のさまたげとなるもの
が入ることを許さない境界を意
味するようになり、そこから、
さまざまの意味に転じたよう
です。
関係者以外、立入禁止、です
かな。
(本願寺出版社発行
辻本敬順著
「仏教用語豆辞典」一〇〇
パート一から)

住職ひとりごと

いつ聞くの？今でしょ

東進ハイスクール林講師がテレビコマーシャルで言った「いつ買うの？今でしょ」が流行していますね。今年の流行語大賞有力候補だという人もいます。その影響かメディアに出られることが多くなり、テレビのバラエティ番組でよくお見かけします。

しかし、さすがに学習塾の講師ですね。これからは、夏期講習の時期。それに集中したいのでテレビの出演を控えるそうです。林講師を見れなくなるのがさびしいような気がします。

林講師の言葉をもじり、「いつ聞くの？今でしょ」を本ページの題名としました。お寺をあずかる者としては、「ご門徒、お同行の皆さんに自由にお寺に来ていただきたい、お聴聞に来ていただきたい」と思っているのですが、なかなか足を運んでいただけません。

来られない理由としてよく聞くのは
・忙しい
・お寺にお参りに行くにはまだ若い
・お寺のことはじいさん・ばあさんに任せとけばいい
等々でしょうか。



「そのとおり」、「いや、そうじゃない」とそれぞれ思われた方がいらっしゃるでしょう。どちらかというところ、「そのとおり」派が多いのでは！

忙しいを理由にお聴聞に行かない方はおそらく生涯お聴聞に行くことはないと思います。蓮如上人の時代にも忙しいからお聴聞に行かない方が多かったの事差しおいて聞かなければならないのです。また、「まだ若い」も理由になりません。明日の命が保障された身ではないのです。年の老若はお聴聞には関係ないので。さらに、お聴聞は人まかせにできません。お聴聞はあなたの命にかかわる問題だからです。みなさんは食事や排便を人まかせにしますか。「今忙しいから、俺の代わりにご飯を食べておいてくれ。排便してくれ」とは言えないはず。食事も排便も自分自身の命にかかわる問題だから人まかせにはできないのです。お聴聞も、あなたの命の行く末にかかわる大問題です。

法語の世界

〈原文〉

仏法をあるじとし、世間を客人とせよといへり。仏法のうへよりは、世間のことは時にしたがひあひはたらくべきことなりと云々。

(蓮如上人御一代記聞書 百五十七)

〈現代語訳〉

「仏法を主とし、世間のことを客人としなさい」という言葉がある。仏法を深く信じた上は、世間のことはときに応じて行つべきものである。

仏事お休みのお知らせ

下記の日はお葬式以外の仏事は行いません。ご協力ください。

記

- 7月 23日 宮崎出張
- 7月 29日 私用(高校用務)
- 8月 2日 高千穂組仏教夏季講座
- 8月 24日~25日 私用(大学用務・京都市)
- 9月 7日、8日 私用(高校用務)
- 9月 23日 秋季彼岸会法要
- 10月 26日 午後~27日 九州地区仏教壮年大会(宮崎市)

第六十三回高千穂組仏教夏季講座のお知らせ

期 日 八月二日(金) 午前九時

場 所 高千穂町向山教願寺

講 師 熊本教区山鹿組 常法寺住職

浄土真宗本願寺派布教使

佐々木 高 彰 師

持参品 念珠・門徒式章・経本・筆記用具

参加を希望される方は金光寺(電話 八三二二三三)までご連絡ください。(募集人員残り四名です)